

松 楓

令和2年9月1日 発行

題字 故 井上知真元校長

44



水彩画「白球」 24回卒 市川光男

埼玉県立飯能高等学校校歌

町田多加次 作詞
鈴木宣彰 作曲

一、雲光る

仰ぎみる

碧き多峯主

眼差しさやか

若き我らが
ああ限りなく

ここ飯能の
友よいざ

高鳴る胸よ
学びの庭に
師とともに

励み鍛へん
三歳の秋を

二、夕靄の

縫いめぐる

天地の間

若き我らが
ああ流れゆく

ここ飯能の
友よいざ

入間の水に
思念浮かべ
星霜偲ぶ
学びの園に
師とともに

尋ね捜さん
明日の道を

三、大空は

武蔵野に

暁のいろ

若き我らが
ああ嘯々と

ここ飯能の
友よいざ

陽はまた昇る
哀歎揺れて
吹く朝風よ
学びの窓に
師とともに

謳い歩まん
青春の日を

昭和50年制定

会長就任に当たって



23回卒 会長 澤田 清志
(飯能市在住)

新型コロナウイルスの蔓延・感染拡大により、日常生活すべてにおいて自粛が求められる事態となり、新年度がスタートしました。今号(44号)が発行を予定しております9月にはこの状況が収束し、日常の生活が行われることを切に望むところです。さて同窓会の事業も、3月以

降会議等も持てず、定期総会は中止。総会に付議すべき案件は6月6日(土)の役員会において審議し、了承されました。資料は、今号とホームページに掲載します。何とぞご了承を賜りますようお願いいたします。申し遅れましたが、前会長の本橋さんの後をお引き受けすることになりました澤田です。前会長の本橋さんは2期4年、

同窓会の改革に尽力されました。特に多くの会員の皆様方から要望のありました「ホームページの開設」。会報誌「松楓」の編集でも、活躍されている同窓生の紹介コーナーの新設、また、同窓会事業への賛助金(寄付金)基金を設けるなど多くの功績を残しての勇退です。心から敬意と感謝を申し上げます。また、2022年(令和4年)の創立100周年に向けての、記念事業実行委員会実行委員長としても手腕を発揮されております。引き続きのご活躍をご期待申し上げます。

さて、昨春県教委より「県立高校の再編整備」が上がり、飯能高校と飯能南高校との統合が発表され、令和5年度より新校がスタートする運びとなりました。これに伴い、同窓会も新しい形でスタートすることとなりますが、今年度より南高校の同窓会と協議を進めて参ります。また、前述の「創立100周年記念事業実行委員会」も木川会長を中心に多くの役員の方々の尽力により、準備が着々と進められております。同窓会とは別の組織ではありますが、バックアップは全力で、互いに手を携えて進めて参ります。(進捗状況は12ページに掲載。)今後、

機会あるごとに会員の皆様方に「松楓」や「ホームページ」(パソコン・スマホから「飯能高校同窓会」と検索)にてご案内して参ります。今後は、新校のスタートに伴う同窓会の準備、飯能高校の応援事業、100周年への準備等やり甲斐のある課題が目の前にあります。これらを役員一同、また会員およそ2万6千人の皆様方のお力を借りながら、母校の発展と同窓会の充実が図れますよう尽力して参る所存です。引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

着任のあいさつ



校長 関口 正人

この度、岩澤前校長先生の後任として四月に着任いたしました校長の関口でございます。県西部地区の伝統校として、輝かしい教育の実績を誇る飯能高校に勤務できることを光榮に存じております。

同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動に対して特段の御理解・御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

げます。

今年度、新たに澤田清志様の会長就任が承認されて新体制へと移行されました。退任されました本橋会長様には、長年にわたり同窓会の運営はもとより、元副市長として、本校の教育活動にも御理解御支援をいただき誠にありがとうございました。今後100周年実行委員長として引き続きお力添えいただきますようお願い申し上げます。また、澤田新会長様は、元飯能市教育長として地元の教育事情

に精通され、本校の学校評議員、昨年度末からは、飯能新校準備委員会委員として御尽力をいただいております。100周年及び新校準備に向けて大変心強い体制が整ったと受け止めております。また、100周年に向けては、木川一男会長様のもと、100周年実行委員会の各部会を中心準備を進めていただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。学校といたしましても、同窓会実行委員会の皆様と密に連携させていただきながら準備を進めてまいりますので、皆様

能市をはじめ、地元の皆様の御理解をいただきまして昨年度末より、新校基本計画検討委員会及び新校準備委員会において協議を進め、年末には新校基本計画を策定する予定になっております。

希望者のクラスとし、学習意欲の向上を図るべく、互いに切磋琢磨できる環境整備をしてきました。また、感染症拡大に伴う休業期間中の学習保障の一環としてウェブ学習サービス(スタディアプリ)を全学年で導入し、「1年生の英語検定全員受検」とともに1年生の段階から進路に向けた取組を行っております。

の御理解・御協力をお願いしたいと存じます。さて、昨年は飯能南高校との統合問題で皆様には大変御心配をお掛けしました。お陰様で飯

統合問題で影響が心配されました生徒募集については、県平均とほぼ同様の1.11倍を確保し、生徒から選ばれる学校・入学したい学校として定着してきたのではないかと考えます。今後は、中学生、保護者及び地域の方々へ信頼される更に魅力ある学校づくりに努めてまいります。

学習面については、一昨年度から2年生のアドバンストクラスのうち1クラスを四年制大学

の御理解・御協力をお願いしたいと存じます。

力をお借りしながら、地域とともに歩む魅力ある飯能高校となるよう努めてまいります。

寄稿

二つの卒業アルバム



19回卒
関口 定男
(ときがわ町在住)

私の自宅には飯能高校からもらった二つの卒業アルバムがあります。一つは昭和41年3月、もう一つは昭和42年3月と記されています。高校3年の卒業間際、担任の有馬先生から職員室に呼ばれ、「関口君、どうしても出席日数が足りなくて卒業ができない。両親と相談してどうするか決めてほしい」と言われました。

ちょうどその1年前の高校2年の3学期、急に足に痺れを感じるようになりました。病院に行くと椎間板ヘルニアと診断され、約半年間入院をしました。無事退院して学校生活を送っていたものの、突然の先生からの通告に、焦りとともにがっかりしたので今でも覚えています。

玉川村(現・ときがわ町)で材木業を営む父が53歳の時、私が生れました。5人の姉がいますが、初の男子ということ成家業の後継ぎとして厳しく育てられました。このまま留年するか、それとも退学して家業を継ぐための修行に出るか。父に相談しました。しかし、「17、8にもなつて、相談してくるやつがいるか。自分で決めろ。」その一言でした。

私は留年することを選びました。夢中になっていたブラスバンドを続けたいという思いがありました。当時、ブラスバンド部が活発だった飯能第一中学校出身の友人がたくさんおり、高校に入学してすぐに同好会を立ち上げました。小屋のような音楽室で練習に明け暮れました。

私はドラムを担当し、机上でドラムスティックの叩く練習を繰り返し、机がへこんでしまったこともありました。練習の成果もあってか、その年に県大会で2位となり、翌年から同好会から部へ昇格させてもらいました。そんな愛着のある部に長くいたかったのです。

1年多く高校に通ったことで

たくさん友人に恵まれました。27歳で家業を継ぎ、会社を立て直し、材木だけでなく建設も請け負うなど、事業を拡大してきました。その中で高校時代の仲間にも助けられたこともありました。家の建設を頼んでくれたり、ビル建設の仕事を紹介してくれたりしました。設計士になった友人と一緒に仕事をしたこともありました。私の卒業アルバムは、こうした飯能高校の友人た

ちとともに過ごした日々の証でもあります。現在は、文科省も木材を利用した学校づくりを推進しています。いつしか耐震工事と合わせて内装を木質化することを「ときがわ方式」と呼ばれるようになり、全国から注目が集まっています。

2年前に政界を引退し、現在は埼玉県中央部森林組合の顧問として、県産木材の利活用の普及に取り組んでいます。



飯能市制10周年記念パレードにて(ドラム担当、2年関口)



47回卒 岡村 育子 (飯能市在住)

2008年北京オリンピック 女子ホッケー出場 岡村育子さんへの インタビュー

Q 場面やエピソード等は？
岡村さん 北京オリンピックではメダルを狙える位個人的にも調子良かったですし、チーム力も上がっていたので、結果を出せず悔しかったのですが、オリンピックで各国の色々な競技のアスリートを身近に感じられ、とても良い経験ができました。

Q ホッケーとの出会いは？
岡村さん 高校に入るまでホッケーは全く知りませんでした。入学してホッケーというスポーツに出会い「すぐ全国大会いけるよ」と言われて入部しました。結局3年間全国大会には出場出来ませんでした(笑)。

Q 飯能高校時代の思い出は？
(ホッケーや日常生活等で)
岡村さん 高校時代はホッケーの記憶しかないという位練習していました。グラウンドでの練習や、冬には宮沢湖や天覧山ヘランニングに行ったり、雨の日でも廊下や階段をダッシュしたり、仲間と過ごす事が何より楽しかったです。

Q キーパーというポジションでの苦労したことは？
岡村さん 私は走る事が苦手でしたが「ゴールキーパーは走らなくてよい」と言われ、当時はゴールキーパーはあまり人気がないポジションだったみたい

Q 北京オリンピック出場を決めたときのお気持ちは？
岡村さん 2006年にドーハで開催されたアジア大会で、北京オリンピックの出場権を獲得しました。その時は準優勝で本来なら優勝しないと出場権は得られなかったのですが、中国が自国開催権を持っていたため日本に出場権が与えられました。ずっと夢だったオリンピックが決まり、とても嬉しかったです。

Q オリンピックで一番印象深

でしたが、進んでやりました。慣れるまで防具は動きにくいし、シユートが速くて痛くて怖かったです。

Q 競輪学校女子の部の一期生と聞きましたが、きっかけや苦労したこと等は？(今は、ガールズケイリン・・・と呼んでいるのですね)。
岡村さん 北京の後ロンドンも目指していましたが、新チームになり段々日本代表としての活動が出来なくなってきたので、どうしようかと考えていた頃に、50年振りに女子競輪が復活するニュースをみました。初心者でもプロになれるとあって、当時30代半ばで今からでも間に合うのかな？と半信半疑でしたが、新しい事にチャレンジしようと決意して競輪学校に入学しまし



日本代表としての海外試合の一コマ



飯能高校ホッケー部の仲間たち

た。競輪学校での1年間は2度と行きたくないですね。鎖骨を2度折りました。

Q 今頑張っているお仕事としての競輪について、楽しいことや苦労していることは？
岡村さん ガールズケイリンもデビューから9年目を迎えました。大怪我を負う危険は高く、身体はキツイですし、親子程に離れた若い選手と走るのは年々厳しいのですが、個人の能力が直接成績にあらわれるので、とてもやりがいがあります。また競輪場は全国各地にあって色々な場所に行けるのは楽しいです。

Q 競輪場は北は北海道から南は九州まで、43カ所あると聞いていますが、お気に入りの場所がありますか？

岡村さん 競輪場は全国にあって、埼玉県でも所沢と大宮の2場あります。私が好きな競輪場は岡山県玉野市にあります玉野競輪場です。瀬戸内海に面していて宿舎からの景色が最高です。

Q オリンピック選手を目指し、努力してきたことの中で、在校生には是非頑張ってもらいたいこと等がありましたら、教えてください。
岡村さん 私は高校時代に今の自分の基礎ができたと思っています。そこから色々な経験をし、色々な人と出会い今日に至ります。そういった意味で高校3年間をどう過ごすのか色々な事に目標を持ってチャレンジしてほしいと思います。

2020年は五輪イヤーの予定でしたが、思わぬ新型コロナウイルスの感染拡大となり、来年へ延期となりました。我が飯能高校からの五輪出場者は、2名。女子ホッケーの岡村さん(今回)と、シドニー五輪マラソン出場の川嶋伸次さん(次回)です。二回にわたってインタビューにて、掲載いたします。岡村さんには、直接会うことができずメールでのやりとりによるインタビュー形式となりました。お忙しい中ありがとうございました。
K・S

喜寿の祝

思い出そして今



14回卒
磯崎 輝男
(飯能市在住)

喜寿を迎えるにあたり、原稿

の依頼を頂いたので思うがままにペンを走らせた。「光陰矢の如し」と言うが、卒業後の58年はあつという間に過ぎてはや喜寿を迎えた。高校時代のアルバムを眺めてみる。楽しくもあり、時に苦勞した生徒会活動、体育祭、文化祭、修学旅行等が走馬灯の如く脳裏によみがえる。「若かった!」とつくづく思う。当時の3年5組の仲間は卒業後も定期的に同窓会を開催し、恩師の鳥海先生を囲み現在も3年に1度程集まり、楽しい時を過している。

さて、永年勤めた会社を退職後悠々自適の生活に入った時、新たな生きがいを求め趣味に挑戦した。一にカラオケ、二に陸上競技審判、三にゴルフである。62歳からカラオケ教室に通い、夢中でレッスンに励み、日本音楽振興会の公認講師の資格を得

て、現在は地元の仲間にあドバイスしながら日々カラオケを楽しんでいる。又、20代より練習に明け暮れた陸上競技だが、55歳の時、日本陸連の公認審判員として、各種陸上競技大会の審判を務め、若い選手のお手伝いが出るのが大きな喜びである。ゴルフはサラリーマン時代より親しんできたが、近年はめっきりプレー回数は減ったものの楽しいスポーツに変わっていない。

我が家は飯能市のはずれに有り、蜜が飛び交いカジカ鳴く清流と山に囲まれた環境にあり、ここ数年は近くの山道を野鳥のさえずりに励まされながら毎日ジョギング(徒歩に近いが)し、健康保持に努めている。現在は妻と二人暮らしだが、時折り訪れる孫達と会うのが大きな楽しみである。

私の地域も年々高齢化が一段と進み、近所に空き家も目立つようになった。又、高齢ドライバーによる交通事故が増加の昨今、免許証をいつ返納しようか、しかし無いと不便かな等考えさせられる問題である。喜寿を迎え、あといくつ年を重ねる事ができるか分らないが、健康第一、広く世間に目を向け、趣味を通じてでも充実した人生を過したいと願っている。

先輩・後輩

90才を迎えて思うこと



1回卒
真柄 好子
(飯能市在住)

もう数カ月で90才になります。

遠く過ぎ去った懐かしい戦前、戦時中、戦後の思い出は先輩の方々が松楓41・42・43号で既にかかれていきます。戦後になって学校の制度が新しく変わり、初めての卒業で私達には2つの選択肢がありました。そのまま高等女学校を卒業できる事と、新制高校に入り第1回飯能高等学校卒業生となる事も出来ました。私は母の勧めで新制高校に入りました。学友16名、今は元気である方が少なくなり連絡も途絶えています。私も少々身体の不調を感じています。元気でいます。週に4〜5回は所沢で若い人の話の相手をさせて頂いています。より素敵に目標を持って目指した世界に近づいて行ける事のお手伝いをさせて頂いています。現在、コロナが世界中に流行

し皆苦しんでいます。宇宙の法則で、与えたものが跳ね返る。今の私達が自分さえ幸せになれば良い、自分の国が平和であれば等と、自己中心的な考えで行動してきた事で神様が『気付きなさい』と私達に啓示して来たのでは等と考える昨今です。

しつかりと約束するかだと思いません。この原稿依頼された事によってこれからの10年間の生き方、考え方を定める事が出来ました。有難うございました。いつまでも松楓が続く事を願い、また編集して下さいます皆様の健康と幸せを祈り、母校のためご活躍されます事を願って感謝して終わらせて頂きます。

ラットンさん、アンドリュースコットの著『100年時代の人生戦略』という本を友人の勧めで読んだのを機に目標を決めました。行動して健康で明るく、今の仕事を通してどれだけの人に、より幸せになつていくお手伝いできるか、今から



後列左端 昭和24年3月卒業式

高校時代の思い出



6 回卒
穴田アツ子
(東久留米市在住)

高校生活で一番に思い出すのは入学式から1か月間休んでしまった事です。母が病気になる幼い弟達だったので私が家事をする為でした。その為担任の先生とか、初めて会う友達、入学時の色々な約束事とか分からず戸惑っていました。何より大事だという、とっておきの講義とかすべて聞けなかった事が残念でした。その後気おくれして登校するのが辛かった事を覚えています。今なら不登校とかになり卒業出来なかったかも知れません。その後友達の温かい援助のお陰で学校にも馴染み通学出来た事は良かったと思つています。3学年の日本史の授業でB先生の講義は特に印象に残っています。明治政府が出来る頃の課程をとにかく一生懸命生徒に伝えようとする熱のこもった授業でした。他にも国語、英語、数学、化学、家庭科(特にM先生)とかの授業は、その後の考え方、物の見方とか大きな影響

を受け、充実した高校生活を送れた事に感謝しております。

現在の私は、色々な趣味を楽しんできましたが、その中で27年も続いている太極拳は今の私を支えています。ゆつくりとした身体の動きに腹式呼吸を加えた健康に役立ってきたと思います。最近ではコロナ問題ですべて活動が止まりお休み続きで残念です。この問題はいつまで続くのやら心配な事です。懐かしい同級生の皆様色々な方の顔が浮かびます。どうぞお健やかに過ごされます様お祈り致します。

思い出



11 回卒
町田 宗男
(所沢市在住)

私は旧吾野村中沢の飛村(現飯能市南)の山奥(中藤上郷の奥)で生まれ、中沢にあった廃校前の南小学校を卒業しました。同校は1学年が10数人で複式学級でした。中学は吾野中学で卒業後、飯能高校に進学し、陸上競技部の長距離選手として1年から3年まで全国高校駅伝の予選会、奥武蔵駅伝を走りました。

松楓43号の柏崎さんは1学年先輩で優秀な選手で足もとにも及びませんでした。スポーツをしたことよって有意義な高校生生活を過ごすことができました。高校3年になって進学を決意し、勉強を始めましたが、スポーツをしていれば勉強しなくてもよいのだ、と誤った認識のもとに過してしまいましたので全く勉強不足でした。英語の鳥海先生に、中学校の英語の基礎からやりなおさなければだめだ、と言われる始末でした。高校時代で一番後悔することは勉強しなかったことです。後輩には運動選手もすっかり勉強することが大切であると忠告したいと思っております。

1年浪人後中央大学法学部に入学し、前飯能市長の沢辺さんと一緒にお茶の水まで通学しました。卒業後神奈川県庁に入りましたが、約6年後退職し司法試験の勉強に専念し、昭和46年に合格しました。当時は受験者が約3万人で合格率は5000から6000人で合格率は2%ぐらいでした。49年に赤坂にある円山雅也先生の事務所にイン弁として就職しました。先生はテレビのウィークエンダに出演していた有名な先生でしたので有名

75歳の私



16 回卒
西澤 輝夫
(所沢市在住)

な事件も扱わせてもらい大変勉強になりました。平成6年から現在も飯能市の顧問弁護士としております。
※イン弁II居候弁護士

人生100年といわれている今日、私は終戦の年に生まれて、今75年生きております。昨今級友が亡くなる事はめずらしい事ではなくなってきました。昨年8月にも剣道7段の級友を失いました。

私は中学時代陸上競技部に属しておりましたので、高校入学前の春休みに誘われて高校の春合宿に参加したのが、高校生活の始まりでした。陸上競技部は1年の秋に退部してしまいました。その後は山岳部に籍を置きました。又入学と同時に文芸部にも入部しました。部室は新聞部と共同使用でした。隣に保健室がありました。文芸部の新入部員は2人。2年生は0人。3年生は5〜6人。3年生が卒業

すると部として成立せず、予算を得ることが出来なくなるので、知人を誘って入部して頂き、予算を得て文芸部の誌「麦」を発行することが出来ました。事件が起きました。修学旅行は関西(京都・奈良)に2年が終る春休み前でした。地元の方と本校の者との間でトラブルが発生、大変な事でした。この事件で数人が新3年生になれず、本校から姿を消されてしまいました。

私は出版社に40年程勤めて定年を迎えました。定年後は全く畑違いの福祉関係に移行しております。先ずヘルパー2級の資格を得て介護タクシーの運転手、5年の経験の後、介護支援専門員の受験、2年後社会福祉士の受験をしました。70歳で後見人等の仕事も始めました。現在は介護タクシーの運転手(登録ヘルパー)を続けながら後見人等の仕事もしております。日々、張を持って生活しております。私の人生もう75歳、まだ75歳。本年10月には恩師の卒寿の祝い兼ねてクラス会を予定しております。恩師の元気な姿は私の目標として大変希望を与えて頂ける存在でもあります。又同級生の一人ひとりが高校時代の

思い出を語り合える場でもあります。次の同級会は喜寿の祝いを考えております。75歳の私はどうなる事でしょうか？

充実した人生づくりの基礎は高校時代にあり



21回卒
鯉沼 文夫
(日高市在住)

40数年間教職に就き、退職後は趣味として油絵の制作に取り組んでいる。

そもそも、趣味として油絵に取り組み始めた動機は、40歳ごろ先輩の先生から退職後充実した人生を送るには趣味を持つべきとの指導を受けたことによるものである。そこで、高校時代美術部に所属し油絵を学んだことを思い出し、仕事の合間を見つけては秩父の風景を描き始め今日に至っている。

高校1年の授業で美術を選択した。鉛筆デッサンの授業で講師の加藤秋荘先生から褒められ、とても嬉しかったことが今でも脳裏に焼き付いている。美術部に入部後、放課後遅くまで石膏デッサンや水彩画、油絵の制作

に打ち込んだことが思い出される。薄暗い教室で、熱心な先輩から多くの指導を受けながら、絵画制作に取り組んだ。特に印象に残っていることは、県西展の出品制作中に、思うような絵が描けず悩んでいたとき、親身になって指導いただいたことである。

冒頭述べたとおり、現在は趣味として油絵に取り組んでおり、毎年開催されている飯能絵画連盟主催の展覧会や在住する日高市美術展などにも出品しているところである。退職後の充実した人生を送れるのは、絵画を愛する多くの仲間たちとの出会いと、高校時代に学んだ美術部での先生や先輩のご指導と仲間たちの支えがあったからであると感謝している。



26回卒
赤岩 昌子
(日高市在住)

振り返れば

突然の原稿依頼に驚いたものの、送付された「松楓」を先ず読みふけた。すると、その誌面に私の恩師、元上司、教え子

や友人の父親の写真までも見つけた。私は飯能高等学校の長い歴史の一時期にそこに在った自分自身を振り返る機会を持った。私が生まれたのは昭和31年、今更ながら戦後わずか10年だったのかと驚く。記憶を辿れば、ジャリ道がまだ多く、転んで膝小僧を怪我すると赤チンだった。当時の飯高通りもそんな道だった。私は飯能第一小生だったので、飯高通りは毎朝の通学路であった。小学生の私にとって、飯高生の通学姿は憧れだった。男子は帽子、詰襟と革鞆で颯爽と歩き、女子は髪の毛を束ね、鞆の持ち手は手製のレース編みカバー。静かに整然と高校に向かう高校生と同じ道を歩くのが嬉しかった。

私たちの時代は受験は県立一本、落ちたら就職だと親に言われたが、他校を選ぶよりは近くの飯高が良いと当然のように入学した。さて、私の高校時代といえは、正門を抜け、旧校舎が一棟残っていた。そのレトロな校舎に部屋があった美術部に入部。高1のとき、応援練習だと急に体育館に集められた。暗幕も閉められ、恐ろしいと激高した生徒会本部役員の男子が「中止

だ！」と暗幕を開け放った。実に衝撃的で生徒会改革の学級討議を繰り返した。私は学級で議長をするなど高揚した覚えがある。高2、高3は私の精神的氷河期であった。級友は担任の関根敬先生の下、男女仲良く楽しい学校生活を送っていたが、私はその輪に入らず自己疎外に陥った。だが、「人間万事塞翁が馬」の如く、こんな時期に私は生涯の友4人を得た。半世紀近くの間、お互いの生活は変化しても、親しく支え合い、励まし合ってきた。母校、飯能高等学校での彼女らとの出会いが、私の人生における宝であると感じ入る。

最後に、日々躍進する母校を誇りに、私たち同窓生も充実した年月を重ねていきたい。

第二スタートライン



31回卒
川崎 政春
(越生町在住)

高校生の3年間は家庭の事情もありアルバイトばかりでした。部活代わりに帰宅後のランニングが日々の日課でした。夜間大

学卒業後、27歳で家庭を。その間も走る事だけは健康維持にも続けていました。その頃からマラソン大会をはじめ、自転車レース、トライアスロン、山岳耐久レースなどに参加する様になっていました。トレーニング場所も奥多摩、奥秩父など関東甲信越中心に、昨年の8月1日の前日まで足を運んでいました。

ところが、自分の不注意で脊髄を損傷、両脚麻痺の身体になってしまい、令和2年3月末に8ヶ月の治療とリハビリを終えて退院してきました。あの日以来、両脚は動きませんが当初よりも気持ちも切替えが出来る様になりました。それは、リハビリセンターに、私よりも大変な障害の方々を、幼い子どもから働き盛りの成人の人を見てきたからです。

来年、還暦を迎えますが、昨年までの自分のやりたい事を家族の協力のもと結構楽しんでこられました。末々、やり残した事もや、60代から計画していた事も全て白紙ですが、自分はまだ腕など上半身は健常者と変わりありません。車椅子での生活動作や、トイレなどかなり制約がありますが、家族や色々な方々の協力を元に、まだ未来はハッキリと

は見えてませんが、前向きに第2の人生をスタートして行きたいと思います。人生何が起るか本当にわかりません。健康が一番大切ですね。

時の流れと縁



36回卒
安藤 千明
(飯能市在住)

卒業して36年経ちますが、飯能高校には縁を感じています。

当時の思い出は、東北新幹線が開業したばかりの東北への修学旅行だったりといろいろありますが、やはり一番は部活動。吹奏楽部に所属していた3年間、夏休み中もほとんど部活動という日々でした。2年生の時に新しい合宿所と部室棟ができ、防音の部室で全体練習ができるようになったものの、当時は部員数も多く全員が入るとまさに密の状態。夏は汗だくになって練習していました。野球の応援や文化祭での発表、市民会館ができる前の公会堂での定期演奏会や3年生最後の夏のコンクールまで充実した高校生活でした。そんな思い出深い飯能高校に

我が子2人もお世話になり、PTA活動で学校に出入りさせて頂き、保護者としても充実した数年を送り、在学中とは違う感覚で飯能高校を見ることもできました。

そして、今年2月に高3の時のクラス会の企画で学校見学会を行い、校舎内や校庭を見学させて頂くこともできました。下の子が卒業してから8年が経ち、その頃とは少し変わっていましたが、あの真新しかった部室棟の変わり様を目にした時は30数年という時の流れを感じました。同級生との見学は格別で、とても懐かしく有意義な時間となり、時が経っても定期的にクラス会を開催できる仲間との出会いを嬉しく思い、縁を感じた時でもありました。

これからも縁ある出会いを大切にしたいと思います。

サッカーに感謝



41回卒
鳴島 吉和
(飯能市在住)

平成元年3月卒業。昭和の終わりと平成という新しい時代を

迎えた飯高時代。部活はサッカー部でした。キャプテン翼世代で小学校4年からサッカーを始め、中学時代、憧れの先輩が飯高に進学したため、私もその先輩とサッカーがしたいと思い飯高に進学しました。

私の学年以降は各学年20名以上いましたが、決して強いわけではなく、でも弱くもなく、西部地区の代表決定戦で、関東大会に出場した西武台と2対1で惜敗し、涙した記憶があります。強豪校の監督に「君たちは県ベスト8に行ける力はあるぞ!」と言われたことを覚えています。グラウンドは西武秩父線の線路を地下道で渡り、野球部と共用でした。打球が飛んで来ると練習を一時中断して逃げたこともありました。私達の時代は、新体育館(現在の体育館)と旧体育館、そして、格技場があり、旧体育館で毎朝7時からミニゲームでテクニクを磨き、8時50分の始業開始5分前までボールを蹴り、汗を拭きながら教室に急いで戻って行った記憶があります。

高校卒業後、私達の世代で社会人チームを立上げ、西部地区で優勝、県のトップリーグを目指すなど活動しました。

現在も少年サッカーの指導などサッカーを続けています。出会った選手がJリーグや年代別の日本代表に選ばれ活躍している姿を見るとサッカーを続けてきて本当に良かったと思います。今まで、多くの出会いもありそれがまた自分の糧となっています。「継続は力なり」私の座右の銘です。

私の高校時代



46回卒
林 幸子
(人間市在住)

今年の春先に、このお話を伺ってから、20数年たった学生時代を思い返してみました。

学生時代の私は、この年代の女子特有の群れる事をしてこなかったもので、思ったよりも級友との思い出が少なかった。その中で真っ先に思い出したのが、昼休みの図書室の事でした。少々暗い室内、古い本の匂い、そして司書の先生や図書委員の子達との日常が、当時の私の基盤だったので。『南総里見八犬伝』『近松門左衛門』を読み進め、3年生の大半をかけた読んでいた『今昔物語』。これらの文語の作品は、漢字の意味と語感でなんとなくわかったつもりで読んでいくのが楽しくかった。

大好きな陸上部



51回卒
田村 祐子
(香川県高松市在住)

今文語の作品を読む機会もなく、あの時間はとても貴重だったのだとつくづく思います。結局、持ち出し禁止だった『今昔物語』は、読み終わらなかつたので、少々心残りです。これを機に、図書館へ行ってみたいと思っております。

幼い頃から走る事が大好きでした。飯能高校陸上部も推薦で入部をして毎日陸上漬けの日々でした。学校へ行くのも部活をしに行くという感じで辛いと思った事はなく練習が嫌になつた事はありませんでした。顧問の吉田先生も厳しい時もあったけれど大好きな先生だったので、良い結果を出して恩返しをした。いいと思って練習をしていました。先輩、後輩とも仲良くできてい

たので、本当に毎日が楽しかったです。

飯能は自然に囲まれているので練習環境は恵まれていたと思います。グラウンド以外にも山コースや距離走をするのにも信号もあまりないアップダウンのあるコースを走れたりとその環境にも感謝しています。

個人的にはインターハイは出場できなかったのですが、それでも吉田先生が実業団の監督と話をしてくれ、高校生の頃から合宿も参加できました。先輩が宮城県にある日本ケミコン陸上部にいたのもあり、私も就職する事ができました。朝練習からみんなについていく事もできずに泣きそうになりながらも、吉田先生に恩返しをしたい思いはずっと心の中にあり、夢中で走ってきました。時間はかかったけれど、駅伝やハーフマラソンで日本代表にも選ばれて、諦めずにやってきて本当によかったですその時初めて思いました。ずっと走りたかったマラソンも国内、国外とたくさん出場でき、一人では絶対ここまで来れなかったし、大好きな陸上を32才まで走れた事は私の中で大切な宝物です。ここまで見守ってくれた家族にも感謝でいっぱいです。

バスケットボール部の思い出



56回卒
坂谷内まい
(日高市在住)

今は子供2人いますが何事にも積極的にチャレンジして最後まで諦めない気持ちを持っていてほしいです。私も今まで経験した事を忘れずに、感謝の気持ちを持って楽しく前向きに生活していきたいと思っています。

私は2004年(2003年度)に飯能高校を卒業しました。すでに16年も経ったのだなと思うと月日の流れの早さを感じます。

高校時代はバスケットボール部に所属し、部活をするために学校へ行っているような生活でした。私がいた時は2学年上の先輩がおらず、1つ上の先輩方はさぞかし苦労したことだと思いますが、当時顧問だった清野先生の熱い指導のもと、日々バスケットボールに打ち込んでおりました。

大好きなバスケットボールですが、小学校3年生から続けたにもかかわらず、私自身はとても上手と言えるプレイヤー

ではなく、仲間には迷惑をかけていたことと思います。

一番思い出深いのは、3年生の最後の試合後に清野先生に「エマ(私のコートネーム)はスタメンになることは少なかったが、チームの中で一番勝ちに貪欲だった。そういう気持ちは他の皆にも持ってほしいし、今後の人生で必ず生きていくと思う。」と言われたことです。

最近、日本人も海外で活躍するバスケットボール選手が増え、以前よりもバスケットボールに関する情報を目にする機会も増えました。その度に部活をしてきた時の記憶がよみがえってきますが、一生懸命頑張ったからこそ、その記憶が楽しい記憶として思い出されます。高校時代のバスケットボール部での青春が、今でも私の心のどこかにあり支えてくれているような気がします。

陸上競技を通して得たもの



61回卒
横手 駿
(入間市在住)

校生活でした。およそ14年前、インターハイに絶対出場してやる。という気持ちで飯能高校に入学したのを今でも覚えています。高校3年生のときに、新井信幸先生ご指導のもと、三段跳びでインターハイに出場することができました。結果は、決勝進出までわずか1cm届かず、予選落ち。私にとって一生忘れることのできない1cmとなりました。しかし、そこに到るまでの経験やそのときの悔しさは、何事にも全力で取り組む姿勢を私自身に作ってくれたと感じています。

また、当時の仲間や他校のライバルとは今でも交流が続いています。陸上チームを作り、かつての敵も今は仲間として時々活動しています。もちろん、昔のように走れないのでゴルフや飲み会等がメインですが…。

陸上を通して得た自分自身の成長と仲間との繋がりは、私の人生においてかけがえのないものとなっています。

今年で30歳を迎える現在は、県内の小学校教

員として働いています。飯能高校で培ったものを、子供たちにも少しでも伝えられたらと思っています。

最後に飯能高校同窓会の益々のご発展と、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



SHUN. YOKOTE
第61回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
2009年7月29日～8月2日 於：埼玉縣熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

報われるということ



66回卒
柴田 隆世
(千葉県市川市在住)

飯能高校を卒業し、6年が経ちました。現在ゼネコン社員の現場監督として3年目の年となります。仕事をする傍ら、7月に控えた一級建築士資格取得のために勉強に励む毎日です。

飯能高校に在籍した3年間のうちバドミントンに励んだ時間が最も濃密な時間でした。入部してからの1年間はとにかくバドミントンにのめり込みました。シャトルを打ち込んでいる時間が楽しくて堪らなかったことを覚えています。当時のバドミントン部は生徒主体でメニュー・ルールを決めている珍しい部だった事も相まって、大好きな先輩達と日々部活に励みました。

1年後引退した先輩達の推薦で部長になり、「この先自分でメニューを考えていかなければいけないのか」という、漠然とした不安を抱えた事を覚えています。

部活が進んでいくにつれ、徐々に部長としての重しがのしかかってくるようになりました。部活に対する不

満が全て自分に向けられているように感じたのです。部員のマインナス言葉にも敏感に反応するようにになりました。25年間の中では一番つらい日々でした。引退した時にも達成感はずいぶん、「やっと終わった」という気持ちだけが自分に残っていました。

大学に進学し、なにげなく部活を見に行き、大学の部活が高校と同じ形であることを知りました。そこで「自分の高校の経験はここで生きているのではないか」と思いました。2年後自分達の代に代わり主務という部長補佐の役職に就きました。「全員が部長である」という主体性をもった部活を目指し、卒業の大会ではリーグ昇格という目的も果たすことが出来ました。

チアダンスと私



71回卒
大木 珠菜
(人間市在住)

私は高校時代、チアダンス部の活動に全力で取り組みました。これまで過ごしてきた学生生活の中で一番得たものや、成長できた事、思い出などがたくさん

ある3年間でした。中学生の時、飯能高校の文化祭で、チアダンス部の演技を初めて見ました。ひと言では表せないくらい美しく、キラキラしていて、私も飯能高校のチアダンス部に入りたい！アメリカで踊りたい！と思うようになりました。

チアダンスは入部前に私が習っていたダンスとは違い、曲の意味を理解してみんなと共有したり、表情を決めて、声を出して、同じところを何度も何度もできるまで練習して…、そうして一つの作品を作り上げるという事がとても新鮮でした。そして、その分一つ一つの作品がとても大切でした。私はみんなでもたくさん練習した格技場が大好きです。

大会では自分が目指していたアメリカの大会に出場する事ができて本当に嬉しかったです。たくさんの方にご支援いただき、とても貴重な経験をさせていただけことができました。本当にありがとうございます。準備ができていたいただきました。結果だけでなく、全てが思い出です。また、飯能の地域のイベントにも出させていただくことも多々ありました。飯能の方々

大工一筋51年



定24回卒
新井 康雄
(日高市在住)

さん関わられたこと、とても嬉しく思います。飯能高校に入学し、チアダンス部に入り、たくさんの友達や部員、先生、コーチなどに会えて本当に良かったです。

私は現在も大学でチアダンスを続けています。チアダンスは、踊っている自分たちも見ている人たちも元気に、笑顔になれる素晴らしいものだと思います。私はこれからもずっと踊り続けます。

私が飯能高校定時制を卒業してから、半世紀近く経ちます。大工になる為の修業をしながら4年間、定時制に通いました。昼は働き、夜は勉強。色々な業種、年齢の違いなど慣れるまでには戸惑いました。

最初の1年はバイク免許取得まで八高線で通っていたので、沿線から通っている級友と東飯能駅まで飯能の街を歩き、帰りにラーメンを食べて帰ったことが思い出されます。

駅に着くと当時はまだ、貨物列車を牽引する蒸気機関車のD51がホームに停車していたものです。

定時制は、一時限目と二時限目の休み時間に給食を食べるので、その給食の時間が楽しみの一つでもありました。クラブ活動はバスケットボール部に入学し、練習に試合に良い汗を流しました。運動会、文化祭、オリエンテーリング、京都・岡山・広島への修学旅行など、たくさんの行事が懐かしく思い出されます。

理由は分かりませんが、途中で学校を辞めていく級友もいた。私が辛抱強く4年間、学校生活が続け卒業できたのも担任の先生や諸先生方、級友のお陰だと感謝しております。

高校に通いながら15歳から大工を始め、気が付けばもう51年大工人生を歩み続けています。私が大工人生を続けてこられたのは、高校時代の4年間に学んだ数々のことが役立つのだと思います。

人生100年時代と言われるので、私の体が続く限り大工人生を楽しみ、全うしたいと思っております。私にとって大工は天職ですから。

100周年記念事業 今後の動き

本校は3月に令和最初の飯能高校の卒業生を送り、4月には令和になって二回目の新入生を迎えた記念となる年であり、卒業生、在校生の皆様がますますのご活躍を期待しています。



会長 あいきつ

4 回 卒
会長
木川 一男
(飯能市在住)

新型コロナウイルス感染症防止に配慮し、令和4年度に創立100周年記念事業を実施する計画で準備を進めております。昨年度は、記念事業費の確保のために

実行委員会では現在、

寄付募集事業を行いました。昨年の9月に発行されました「松楓」第43号にこの事業である「100周年記念事業募金」の内容について掲載させていただきました。おかげさまで大変多くの卒業生から募金のご協力をいただきました。皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。

また、募金趣意書等が必要な方は、左記までメールでお知らせいただければ募金趣意書を送付いたします。

令和2年度は、記念事業の内容や記念事業のスケジュールについて検討してまいりますので、母校のさらなる発展のために、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

（募金期間）
令和3年3月31日まで
（募金取扱金融機関）
ゆうちょ銀行
口座記号番号
00220191887110
飯能高等学校100周年記念事業募金

寄付金の状況

平成29年度	30,000円
平成30年度	660,000円
令和元年度	13,443,000円

令和2年3月末現在の寄付件数、寄付金額	
寄付件数	907件
寄付金合計額	14,133,000円

100周年記念事業 募金について

募金にご協力いただける方は、昨年、同窓会会員の皆様に送付させていただきました募金趣意書等をご覧ください。



連絡先
飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会事務局
メールアドレス
hanko100@hanno.jp

平成31年度・令和元年度 飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 収支決算報告書 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

科 目	予 算 額	収入済額	比較増減	摘 要
寄附金	10,000,000	13,443,000	3,443,000	寄附件数 890 件
繰越金	4,419,351	4,419,351	0	
雑収入(利息等)	649	63	△ 586	預金利息
合 計	14,420,000	17,862,414	3,442,414	

科 目	予 算 額	支出済額	比較増減	摘 要
会議費	460,000	158,287	△ 301,713	総会費、役員会費等
事業費	1,000,000	60,189	△ 939,811	記念誌編集アドバイザー料等
寄附募集費	3,500,000	3,187,680	△ 312,320	募金趣意書印刷発送業務委託料、寄附金口座への振込手数料負担金等
事務費	200,000	81,214	△ 118,786	印刷費、郵送料等
会報誌定期購読交付金	16,000	16,000	0	同窓会へ交付
雑 費	20,000	0	△ 20,000	
予備費	9,224,000	0	△ 9,224,000	
合 計	14,420,000	3,503,370	△ 10,916,630	

令和2年度 飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会 予算 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
寄附金	500,000	10,000,000	△ 9,500,000	寄附金
繰越金	14,359,044	4,419,351	9,939,693	前年度繰越金
雑収入	956	649	307	預金利息ほか
合 計	14,860,000	14,420,000	440,000	

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
会議費	300,000	460,000	△ 160,000	総会費、役員会費、部会費
事業費	1,000,000	1,000,000	0	記念誌編集アドバイザー料等
寄附募集費	100,000	3,500,000	△ 3,400,000	寄附金口座への振込手数料負担金等
事務費	200,000	200,000	0	印刷費、郵送料、消耗品
会報誌定期購読交付金	900,000	16,000	884,000	同窓会へ交付
雑 費	20,000	20,000	0	
予備費	12,340,000	9,224,000	3,116,000	
合 計	14,860,000	14,420,000	440,000	

令和2年度 飯能高等学校同窓会定期総会

令和2年6月6日(土)に開催予定されていた定期総会は、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止としました。議事・議案に関しまして役員会において審議、承認いたしましたことをご報告いたします。

平成31年度・令和元年度 飯能高等学校同窓会 事業報告

事業月日	事業内容
31・04・06	役員会① ・総会について ・会報について
31・04・08	入学式 同窓会澤田副会長出席
31・04・23	監査会 ・決算
01・05・11	役員会② ・総会準備 ・会報発行委員会
01・06・01	定期総会 ・喜寿を祝う会・懇親会
01・06・22	役員会③ ・総会反省 ・会報発行委員会
01・07・06	役員会④ ・会報発行委員会(松楓43号編集・校正)
01・07・27	役員会⑤ ・会報発行委員会一校正
01・08・03	役員会⑥ ・会報発行委員会二校正
01・08・31	役員会⑦ ・会報発行委員会
01・09・01	会報「松楓」43号発行 ・松楓43号発送作業
01・10・05	役員会⑧ ・研修会について
01・10・17	研修会 <台風のため中止>
01・12・21	役員会⑨ ・会報について
02・01・11	役員会⑩ ・入会式について ・会報について
02・02・15	役員会⑪ ・総会について ・会報について
02・03・10	第72回入会式(216名入会) <新型コロナ拡大防止のため中止>
02・03・11	卒業式 <新型コロナ拡大防止のため卒業生教職員のみで開催>
02・03・21	役員会⑫ ・総会について ・会報について

令和2年度 飯能高等学校同窓会 事業計画

事業月	事業内容
02・04	入学式 新入生・在校生・教職員のみで開催
02・04	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓44号)
02・05	監査会 ・決算
02・05	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓44号)
02・06	定期総会に代わる役員会
02・06	役員会 ・会報発行委員会(松楓44号 寄稿文依頼確認作業)
02・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業1)
02・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業2)
02・08	役員会 ・会報発行委員会(発行最終チェック)
02・08	役員会 ・松楓発送準備作業
02・09	会報「松楓」44号発行・発送
02・10	役員会
02・11	役員会
03・01	役員会 ・飯能南高等学校同窓会役員との話し合い
03・02	第73回入会式 同窓会役員出席
03・03	卒業式 同窓会会長出席
03・03	役員会 ・事業内容反省会等

※例年10月に開催しております研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑みて中止といたします。

平成31年度・令和元年度 飯能高等学校同窓会 収支決算書

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

科目	予算額	収入済額	比較増減	摘要
収入の部				単位:円
会費	1,145,000	1,080,000	△65,000	令和元年度卒業生(216名×5,000)
繰越金	1,565,841	1,565,841	0	前年度から
会報定期購読収入	49,200	51,800	2,600	平成28年度分(119名×200) 平成29年度分(80名×200) 平成30年度分(36名×200) 令和01年度分(14名×200) 寄付者分(10名×200)
賛助金	10,000	10,000	0	匿名1名
雑収入	959	8	△951	預金利子
合計	2,771,000	2,707,649	△63,351	

支出の部

科目	予算額	支出済額	比較増減	摘要
会議室	70,000	8,851	61,149	役員会
総会費	100,000	77,642	22,358	令和元年6月1日(39名)
印刷費	10,000	3,860	6,140	コピー代
通信費	10,000	0	10,000	
会報発行・発送費	750,000	585,212	164,788	松楓43号(9月1日発行)
慶弔費	30,000	26,500	3,500	
事務費	80,000	52,952	27,048	名簿データ管理料50,000 事務用品2,952
事業費	500,000	250,000	250,000	学校応援事業
研修費	100,000	0	100,000	台風に伴い中止
ホームページ費	250,000	222,264	27,736	ホームページ作成料・保守料
積立金	50,000	50,000	0	学校応援事業等基金積立金
予備費	821,000	0	821,000	
合計	2,771,000	1,277,281	1,493,719	

収入合計2,707,649円 - 支出合計1,277,281円 = 1,430,368円 (令和2年度へ繰越し)

【財産目録】 普通預金 1,430,368円
定期預金(学校応援事業等基金) 50,000円

上記のとおり報告いたします。 埼玉県立飯能高等学校同窓会
令和2年6月6日 会長 本橋憲一郎 ㊞
会計 新井 茂 ㊞
会計 若林 淳子 ㊞

上記監査の結果 正当と認めます。 埼玉県立飯能高等学校同窓会
令和2年5月21日 監事 原島 稔久 ㊞
監事 鯨井 暢 ㊞
(注:原本には認印があります)

令和2年度 飯能高等学校同窓会 予算

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
収入の部				単位:円
会費	1,145,000	1,145,000	0	令和2年度卒業予定者(229名×5,000)
繰越金	1,430,368	1,565,841	△135,473	前年度から
会報定期購読収入	204,400	49,200	155,200	松楓定期購読収入(1,022名×200)
賛助金	10,000	10,000	0	
雑収入	232	959	△727	預金利子ほか
合計	2,790,000	2,771,000	19,000	

支出の部

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
会議室	70,000	70,000	0	役員会
総会費	0	100,000	△100,000	
印刷費	0	10,000	△10,000	
通信費	0	10,000	△10,000	
会報発行費	800,000	750,000	50,000	会報(44号)印刷(5,000部)
慶弔費	30,000	30,000	0	
事務費	80,000	80,000	0	事務用品ほか
事業費	500,000	500,000	0	学校応援事業ほか
研修費	0	100,000	△100,000	
ホームページ費	55,000	250,000	△195,000	サーバー保守料
積立金	50,000	50,000	0	学校応援事業等基金積立金
予備費	1,205,000	821,000	384,000	
合計	2,790,000	2,771,000	19,000	

定期購読料年度別配分表

単位:円

年度	人数	収入金額	年度別配分額										
			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
28	119	119,000	23,800	23,800	23,800	23,800	23,800						
29	80	80,000		16,000	16,000	16,000	16,000	16,000					
30	36	36,000			7,200	7,200	7,200	7,200	7,200				
R1	24	24,000				4,800	4,800	4,800	4,800	4,800			
R2	763	763,000					152,600	152,600	152,600	152,600	152,600	152,600	152,600
合計	1,022	1,022,000	23,800	39,800	47,000	51,800	204,400	180,600	164,600	157,400	152,600		

【基金残高】 学校応援事業等基金 50,000円

上記のとおり提案いたします。

令和2年6月6日

埼玉県立飯能高等学校同窓会
会長 澤田 清志

追悼

松楓編集に感謝



高野伊九
子様の訃報
を聞き、元
気なお顔と
行動力に長けた姿を思い出し、
残念な気持ちです。

高野様は、昭和28年卒の同窓会理事で、編集委員を23号(43号まで)21年間続けて頂きました。松楓で同窓会活動を広く卒業生に伝えて頂いたご尽力に感謝いたします。

平成18年から同窓会監事、同24年から幹事、同26年から副会長、同28年から参与の役員を歴任されてご活躍頂いた功績には感謝以外の言葉が見つかりません。「お疲れ様でした。」

100周年記念誌部会長にも就かれ、2年後に迫った100周年式典を夢見ていた事でしょう。高野様の功績に感謝し言葉足らずですが追悼文とさせていただきます。

16回卒 田中 晃一
(入間市在住)

会長退任にあたって



20回卒
本橋憲一郎
(飯能市在住)

この度、役員任期満了により、会長職を退任いたしました。在任中は、多くの会員の皆様方をはじめ、役員の方々のご理解とご協力により、会の運営ができましたことに、心から感謝しております。

平成29年に前田中会長から会長職を引き継いで以降、同窓会の健全運営に努め、学校長のご理解とご協力により会費を増額することができ、そのことにより、毎年度一定規模の学校応援事業を実施することができるようになりました。

また、飯能高校創立100周年記念事業実行委員会との連携におきまして、実行委員会が本同窓会の長い間の懸案事項でございました卒業生名簿を作成していただきましたこと、更には、会報誌「松楓」の購読者拡大にご協力をいただきましたことは、同窓会にとりまして画期的なことでもあり、たいへん有難く心から感謝と御礼を申し上げます。令和5年度に飯能高校と飯能南高校を統合して新たな学校を設立するという方針が示されており、同窓会もそれに向けて今後対応されるものと思えます。幸い、澤田副会長が新会長に就任していただきましたので、澤田会長には、これまで

培ってられました専門家としての高い識見と実行力を發揮され、新たな時代に向けて、この同窓会を導いて下さるものと期待しております。

これまで支えてくださいました多くの関係者の皆様方に御礼申し上げます。同窓会の限りないご隆昌をお祈りしております。

新副会長就任にあたって



25回卒
中里 敏男
(飯能市在住)

令和2年度より飯能高等学校同窓会副会長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

この同窓会の役員になるのは初めてですが、現在、飯能高等学校創立100周年記念事業実行委員会の総務部会長をしている関係で、少しですが学校関係の事業に関わっております。

今年に入り3月頃から新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で、各方面での会議等の自粛や中止が続き、当同窓会も総会を開くことが出来ず、6月に総会に代わる役員会を行った次第であります。その会議で初めて新役員の皆様の紹介が出来ました。この同窓会では、広報誌「松楓」の発行が主な事業となっておりますが、前年度ホームページの開設によって多くの方に情報の共有することが可能になり、活動の伝達が容易になりま

した。今後もホームページの有効利用を進めていかななくてはならないと考えております。

このような中で、現在の学校関係のことは、令和4年度の創立100周年記念事業や令和5年度の飯能南高校との統合があります。

同窓会としてもどのように関わり協力していくなど取り組むことが多くあると思います。

皆様のご協力によりスムーズな運営ができることを願っております。

令和2年度同窓会役員一覧

顧問	関口 正人 (学校長)
	田中 晃一 (16回卒)
	本橋憲一郎 (20回卒)
参与	町田多加次 (4回卒)
会長	澤田 清志 (23回卒)
副会長	都築 敏夫 (24回卒)
(総務)	中里 敏男 (25回卒)
(事務局長)	新野代里子 (28回卒)
(公報)	佐野 勇 (34回卒)
幹事	豊田 美子 (35回卒)
	若林 淳子 (30回卒)
	奥田由記子 (30回卒)
監事	原島 稔久 (17回卒)
	鯨井 暢 (28回卒)
会報発行委員	永井つる子 (20回卒)
	市川 光男 (24回卒)
	細田 宏子 (28回卒)
	嶋田 栄子 (28回卒)
	矢島幸一郎 (35回卒)
校内理事	大野 賢一 (33回卒)
	小澤 真帆 (66回卒)

事務局からのお知らせ

ホームページのご案内

パソコン又はスマホから「飯能高校同窓会」で検索しますと、ご覧いただくことができます。是非とも、多くの方にご覧いただきますように。



飯能高校同窓会 検索

住所等変更届

住所、氏名等が変更になったときは、事務局までご連絡をお願いいたします。

*連絡先 事務局幹事
豊田 美子

携帯 09078479612
FAX 042-971-2912

「松楓」定期購読について

定期購読は、1,000円で5年間、「松楓」を発送致します。ご希望の方は、副会長都築(☎042・972・2257)までご連絡ください。

次回 同窓会総会
令和3年6月5日(土)

令和2年度 学校の近況について



教頭 矢島 得充



教頭 廣瀬 和義

喜びもひとしおと思います。3年生にとっては最後の大会となりますので、最善を尽くしてほしいと願っています。

さて、学習面については、これまで通り、1年次の英語検定全員受験、2年次は英語の成績をもとにしたクラス編成と上位クラスの模擬試験全員受験など進学実績の向上を目指す取組を行っています。そして現在、令和4年度の新学習指導要領のスタートと令和5年度の新校開校に伴う教育課程の編成を急ぎ進めております。さらに進学実績を伸ばし、多様な進路希望にも応えられる、特色ある教育課程を編成したいと考えております。

令和2年度は、昨年度末から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、これまで学校現場では経験したことのない多難なスタートとなりました。感染拡大防止のため、卒業式や入学式の規模の縮小、時間の短縮を余儀なくされ、臨時休業や分散登校などの状況が続ぎ、ようやく6月22日から通常登校となりました。また、遠足や文化祭などの行事や部活動の大会の中止や延期など生徒にとつて計り知れないほどの精神的な負担をかける結果となってしまいました。この原稿を書いている6月26日に埼玉県高等学校体育連盟から、スポーツ実践の機会を提供する大会の開催を目指すという通知がまいりました。8月中旬に開催するというもので、高校野球に続いての代替大会となります。中止とされていただけに

は主に現在予定されている行事、大会結果については昨年度2学期以降の結果報告となりますことをご容赦ください。

◎主な学校行事

4月 入学式(8日)

240名の新入生を迎えました。



5月 PTA総会…書面審査での実施

遠足…中止

◎今後の主な学校行事

9月 榛の木祭(文化の部)

…中止

11月「ウォーク21」(強歩大会)

昨年度、台風19号の影響により予定していたコースが通行止めとなったため、中止となりました。今年度はコースを変更し実施する予定です。お近くで生徒を見かけましたら、ぜひ、励ましの声をおかけください。

他には部活動や授業で地域の小学校等と交流を広げています。

◎部活動の大会実績等

「昨年度7月以降の主な活動状況」

ホッケー部

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

出場

U18女子ユース日本代表日

韓交流事業選出

関東選抜大会優勝

全国高等学校選抜ホッケー大会ベスト8

陸上競技部

県新人大会 男子5000m

競歩5位、女子砲丸投げ6位

卓球部

埼玉県ジュニア卓球選手権大会

男子ダブルス ベスト8

弓道部

関東個人選抜選手権県予選

決勝進出

チアダンス部

全日本チアダンス選手権全国

大会高校生ジャズ部門優勝

演劇部

所沢・入間地区発表会奨励賞

受賞

写真部

飯能市写真連盟展 飯能市写真連盟会長賞

吹奏楽部

埼玉県吹奏楽部コンクール出場

他に部活動や授業で地域の小学校等と交流を広げています。

他に部活動や授業で地域の小学校等と交流を広げています。

令和2年度人事異動

(退職)

校長 岩澤 正明
教諭 廣本 哲哉
教諭 今井 隆之
教諭 鈴木 禎一

(転出)

事務部長 嶋田 義雄(松山女子高校)
教諭 坂 佳憲(坂戸西高校)
教諭 飯島 浩子(川越高校)
教諭 市村 幸司(狭山青陵高校)
教諭 相澤 有美(狭山緑陽高校)
教諭 武藤 真澄(坂戸西高校)
教諭 嶋田 茂樹(越生高校)
教諭 戸澤 和宏(入間向陽高校)
講師 宮野 文子
講師 大森 康子
講師 太田 春奈
主事 齋藤 眞喜(入間向陽高校)
主事 田中 栄一(狭山緑陽高校)
業務主事 安齊 圭一(川越高校)
業務主事 (転入)

(転入)

校長 関口 正人(吾山特設校)
教頭 廣瀬 和義(所沢中央高校)
教諭 山本 裕美(坂戸西高校)
教諭 福元 聡美(川越女子高校)
教諭 関根 和毅(入間向陽高校)
教諭 依怙 亮太(川越南高校)
教諭 秋山 雅子(滑川総合高校)
教諭 三浦周一郎(飯能南高校)
教諭 関根 一弘(本庄高校)
教諭 吉田英里奈
主事 佐藤 七恵(芸術総合高校)
業務主事 吉澤 進(入間わかさ特幸)
業務主事 新井 弘史(大宮商業高校)

母校だより

バドミントン部

顧問 坂本 春菜



バドミントンは、中学校まで
に部活動でできる学校が少ない
ため、高校生から始める生徒が
多い競技です。飯能高校のバド
ミントン部も、経験者は年に1、
2名いるかないかで、ほとん
どが初心者です。つまり、入学
時のスタートラインは皆、同じ
で、そこからいかに活躍できる
か、大会に出場できるかは、入
部後の努力次第となつてきます。
部員が自分なりの努力とひたむ
きさでバドミントンに向き合い、
成長していく様子は、顧問とし
ても驚きと喜びを持って受け止

めています。
本校のバドミントン部は男女
合同で、令和2年度は男子3年
生11名、2年生11名、女子3年
生9名、2年生13名でスタート
しました。昨年度は週5日の活
動の中で、基礎練習やゲーム練
習、筋肉トレーニングに励み、
大会での躍進を目指し頑張つて
きました。OB、OGの指導や
飯能市民クラブへの参加など、
学校外からの応援も厚く、あり
がたく感じています。
部員の「勝ちたい」という意
欲も高く、新体制での活躍に期
待をしていたところへ、新型コ
ロナウイルスの感染拡大が起き
ました。バドミントンも高体連
の他の大会同様、引退試合とな
るはずだった学総大会が中止と
なりました。3年間の努力の成

果を見せる場が失われたことは、
心から残念でたまりません。3
年生の悔しさは計りきれないも
のがあります。地区で3年生大
会が開催されることになったの
で、参加する生徒にはそこで力
を出し切ってもらいたいと思ひ
ます。
6月、ようやく新人部員の勧
誘が始まりました。厳しい条件
下ではありますが、「飯能高校
でバドミントンをやりたい」と
志す部員とともに、日々の活動
を頑張っていきたいと思ひます。
どうぞ、よろしくお願いいたし
ます。
顧問 清水 繁

書道部

顧問 清水 繁



書道部は、現在3年生1名、
2年生3名合計4名という少
数での活動になっています。
書道というと、どのようなイ
メージを持たれますか。手紙を
きれいに書きたい、祝儀袋の文
字をきれいに書きたいなど実用
面での手習いという概念が定着
されていますか。そのため、
暗い、面白くないというイメ
ジができあがってしまうのかも
しれません。書道は本来、音楽
や美術と同じような芸術活動で、

文字を使って自己表現するもの
です。もともと多くの子
に、この醍醐味を味わって
いたいと思っています。文字を
書くという行為が、あまりにも
日常的すぎるからかもしれません
が。
書道部の主な活動は、文化祭
作品展示や埼玉県高等学校書道
展出品、さらに高校生国際書道
展(通称「書の甲子園」)など
の公募展への出品です。さら
に県硬筆展や県書き初め展など
も当然ながら入賞目指してチャ
レンジしています。また、ここ
数年書道パフォーマンスにも取
り組んでいます。書道の活動は、
どうしても個人の活動になりや



すいすい。部員の結びつきを深
めたり、思い出作りという意味
では、チームワークを必要とす
るパフォーマンスは意味のある
ことだと考えています。パフォー
マンスは文化祭で披露してお
り、少ない部員ではありますが、
やり終えた後の充実感他では
なかなか体験できないものにな
っています。

IT化が進み、文字を書か
なくなったといわれていますが、
そんな世の中であればなおさら
手書き文字の価値はあり、今後
存在意義が見直されるのではな
いかと思っています。少人数な
がら、自己表現を目指して、個
性あふれる作品制作に頑張つて
いきたいと思ひます。御支援を
お願いいたします。

作品を展示する「渡り廊下」

教諭 小澤 真帆

ホームルーム棟から特別教室棟に渡る2階廊下は、芸術の授業や図書館に向かう生徒や教員が行き交う場所です。そこには生徒たちのさまざまな作品が展示してあります。

以前は、3階の屋外廊下の影のような存在として、あまり使用されることがなかった渡り廊下です。特別教室棟に渡るためだけの寂しい廊下でしたが、ここ数年でリニューアルされ、雰囲気も明るくなりました。



書道部の作品をはじめ、家庭科部の「つるし雛」、生物の授業課題など、生徒が時間をかけて作った作品が並んでいます。今まではなかなか見ることのなかった書道部や家庭科部の作品を、生徒みんなが気軽にのぞける場所になっています。

また、勉強のできる廊下でもあります。昨年生物を学んだ3年生がグループでまとめた作品がいくつも並んでいます。

「那覇と

飯能のバイオームの違い」「記憶について」「金の町ラスベガス」など、目を引くテーマばかりです。移動教室途中に足を止めて眺めていると、いつのまにかチャイムがなってしまうなんてことも……。時々生徒だけでなく教員も渡り廊下で立ち止まっている光景も見受けられます。

新しい作品を見られるのが楽しみです。



学年代表	6組	5組	4組	3組	2組	1組
清水 颯	山中 歩弓 う乃	小島 拓弥 鹿島 成哉	西村 星河 中村 美月	山岸 静夜 清水 颯	新井 大輝 會澤 彩美	益塚 実音 遠藤 祐希

令和2年3月卒業（高校72回）された同窓生の中から、左記の方が理事となりましたので紹介いたします。

同窓会理事名簿追加 (第72回卒業生 同窓会理事)

編集後記

今回44号の編集に向けて、お忙しい中、原稿・写真等をお寄せいただいた方々に心より御礼申し上げます。

原稿を読みながら年代を越えて多くの方と繋がりが持てた気持ちになりました。

密を避けなければいけない不安な生活が続く日々の中、「松楓」を通して、同窓生の繋がりが広がることを願っています。

H・H

〔編集委員〕（◎編集委員長）

澤田 清志	嶋田 栄子
都築 敏夫	矢島幸一郎
中里 敏男	若林 淳子
◎新野代里子	奥田由記子
永井つる子	佐野 勇
市川 光男	豊田 美子
細田 宏子	

会報「松楓」第44号

令和2年9月1日

編集・発行 同窓会

発行責任者 会長 澤田 清志

印刷 (株)ブラウズ

発行所 埼玉県飯能市

埼玉県立飯能高等学校内

飯能高等学校同窓会